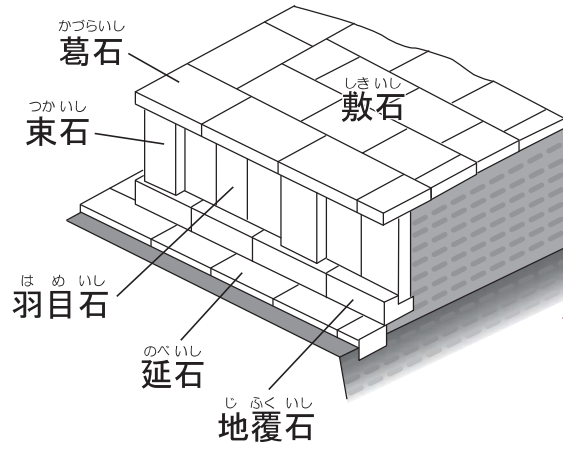


# 令和2年度 上野国分尼寺跡 確認調査展示会

高崎市教育委員会では、平成28年度から上野国分尼寺跡の範囲や内容を明らかにするための確認調査に着手し、尼坊跡や築地塀跡の発見など大きな成果をあげることができました。

今年度の調査は5月から8月にかけて実施しました。この結果、伽藍の中心的建物である金堂の位置や規模が確定しました。また、金堂正面を囲む回廊の北東部を調査し、東面回廊跡で原位置の礎石が5か所残ることがわかりました。

過去5回にわたる調査で、伽藍の範囲や伽藍中心部の建物位置がほぼ判明しました。ただし、まだまだ課題は残されているため、高崎市教育委員会では今後も関係者の方々にご理解・ご協力を頂きながら、調査を継続していく予定です。

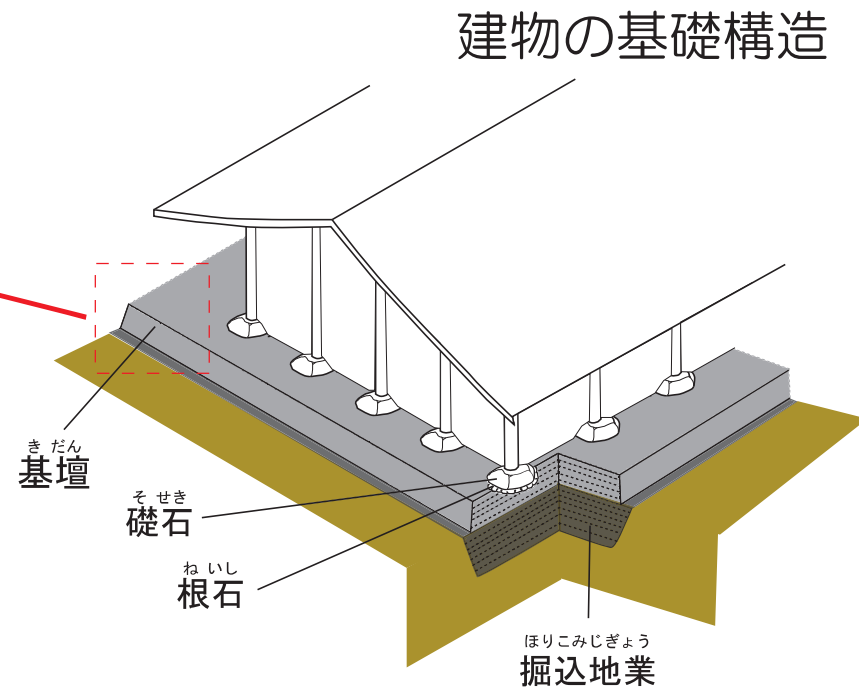


基壇外装模式図

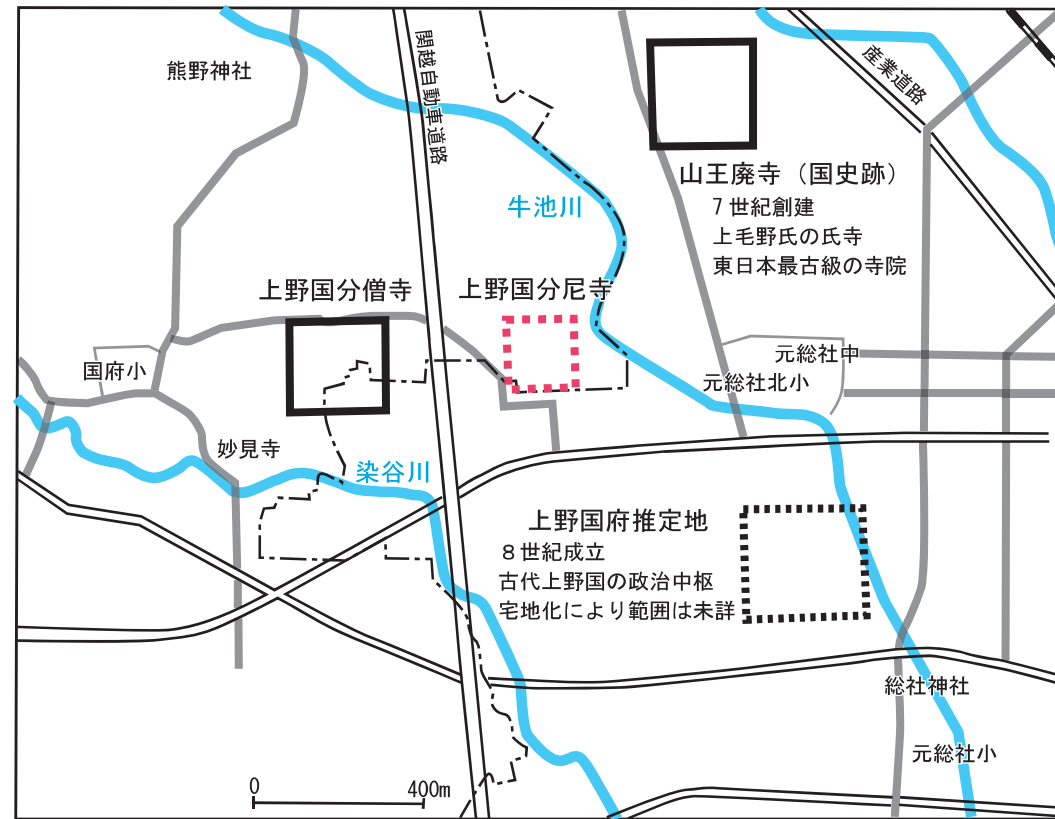
出典：『発掘調査の手引き-各種遺構調査編』平成25年(2013)  
文化庁文化財部記念物課 加筆



④ 基壇外装 (北西から)



金堂跡は東半部を調査し、厚さ1mにわたり丁寧に突き固められた地業跡を確認した。平面規模は地業部分で南北約20m、東西は伽藍中軸線(想定)をもとに西側を復元すると約28mとなる。南東隅では基壇外装の基礎と思われる凝灰岩切石が存在した。また、基壇南辺・東辺の外縁付近に沿って、瓦の端部を上下に列状に埋めた「瓦列」がみられ、類例が無い為今後の検討が必要だが、基壇外装の一種であろうか。



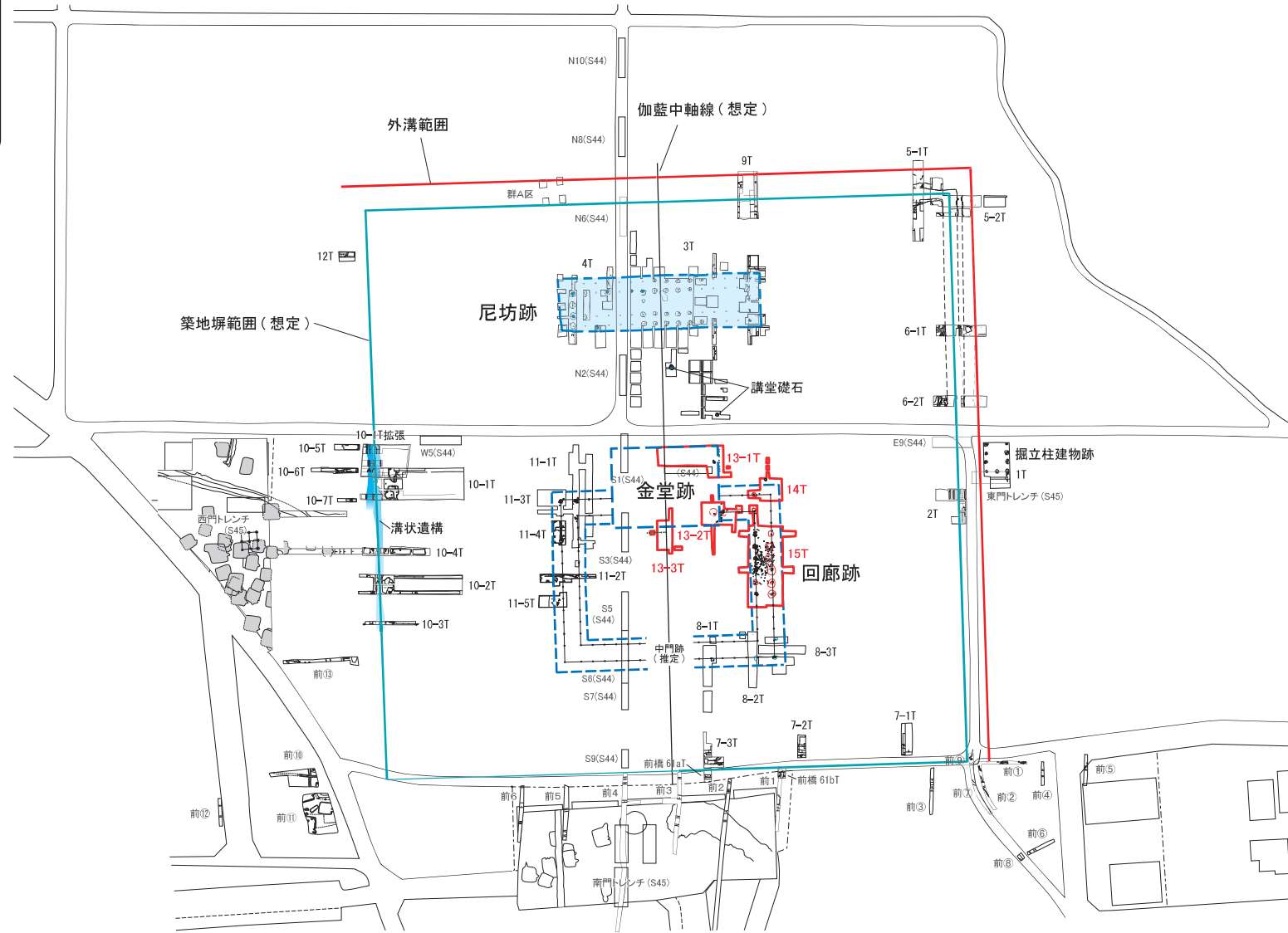
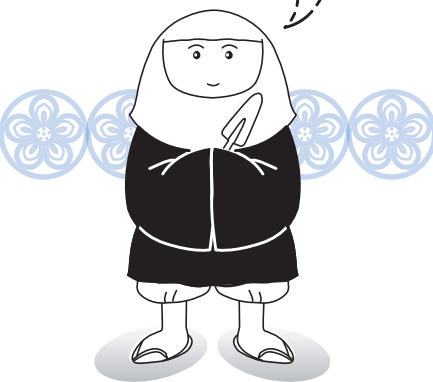
### 用語解説

**伽藍(がらん)**  
寺院の主要建物群

**金堂(こんどう)**  
本尊を安置する建物  
伽藍の中心的建物

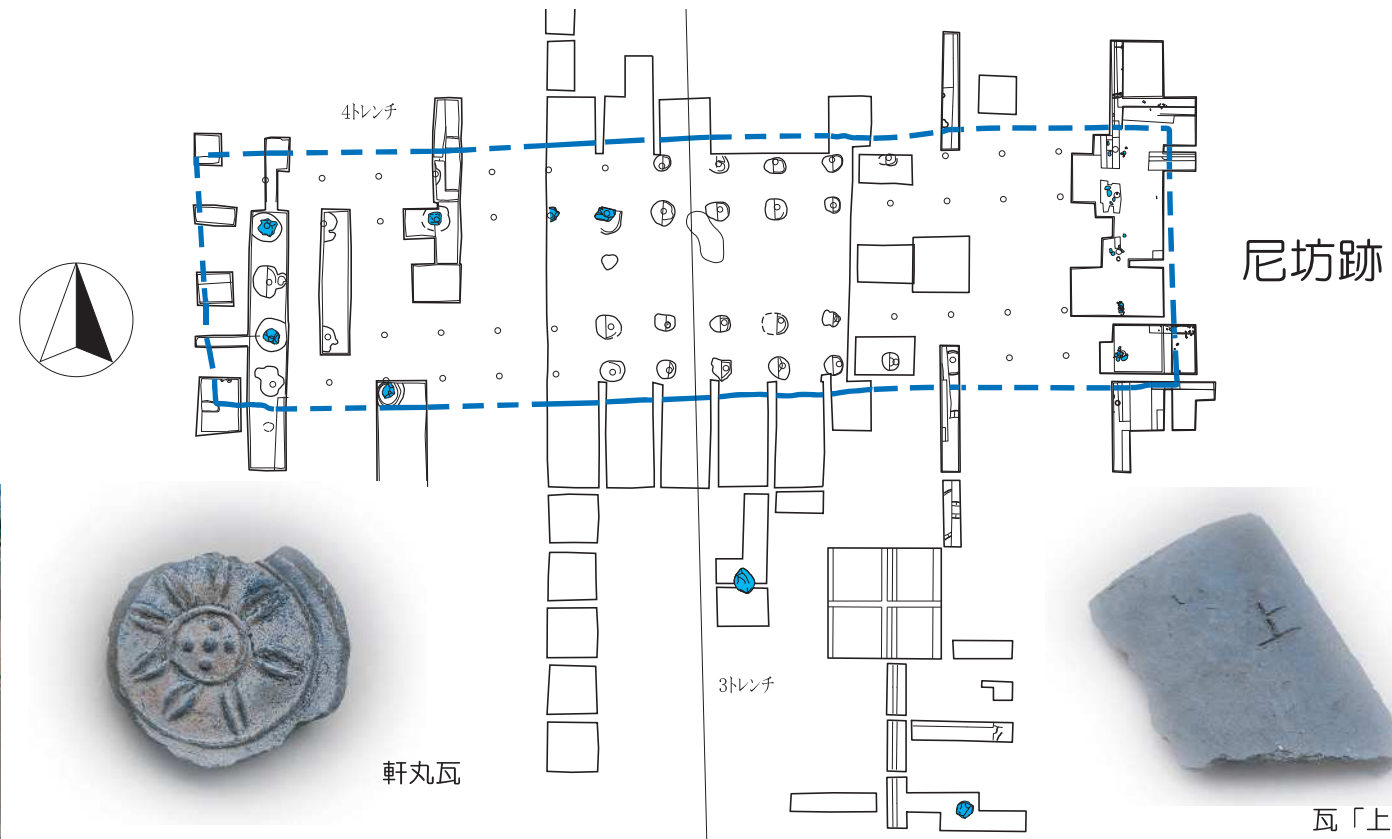
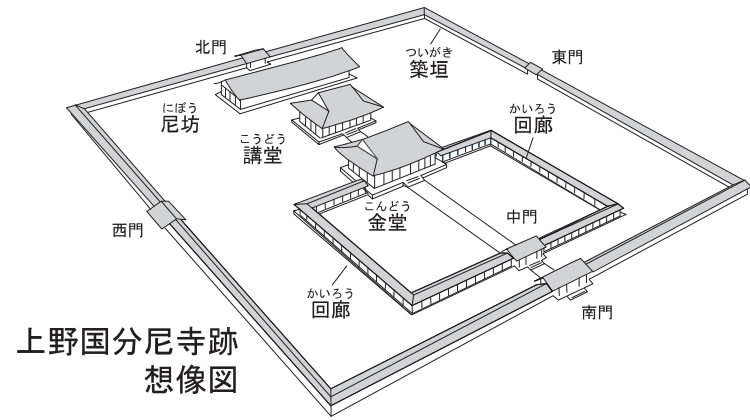
**講堂(こうどう)**  
經典の講義や説教をする建物

**尼坊(にぼう)**  
尼が日常生活を送る宿舎  
僧寺では「僧坊」

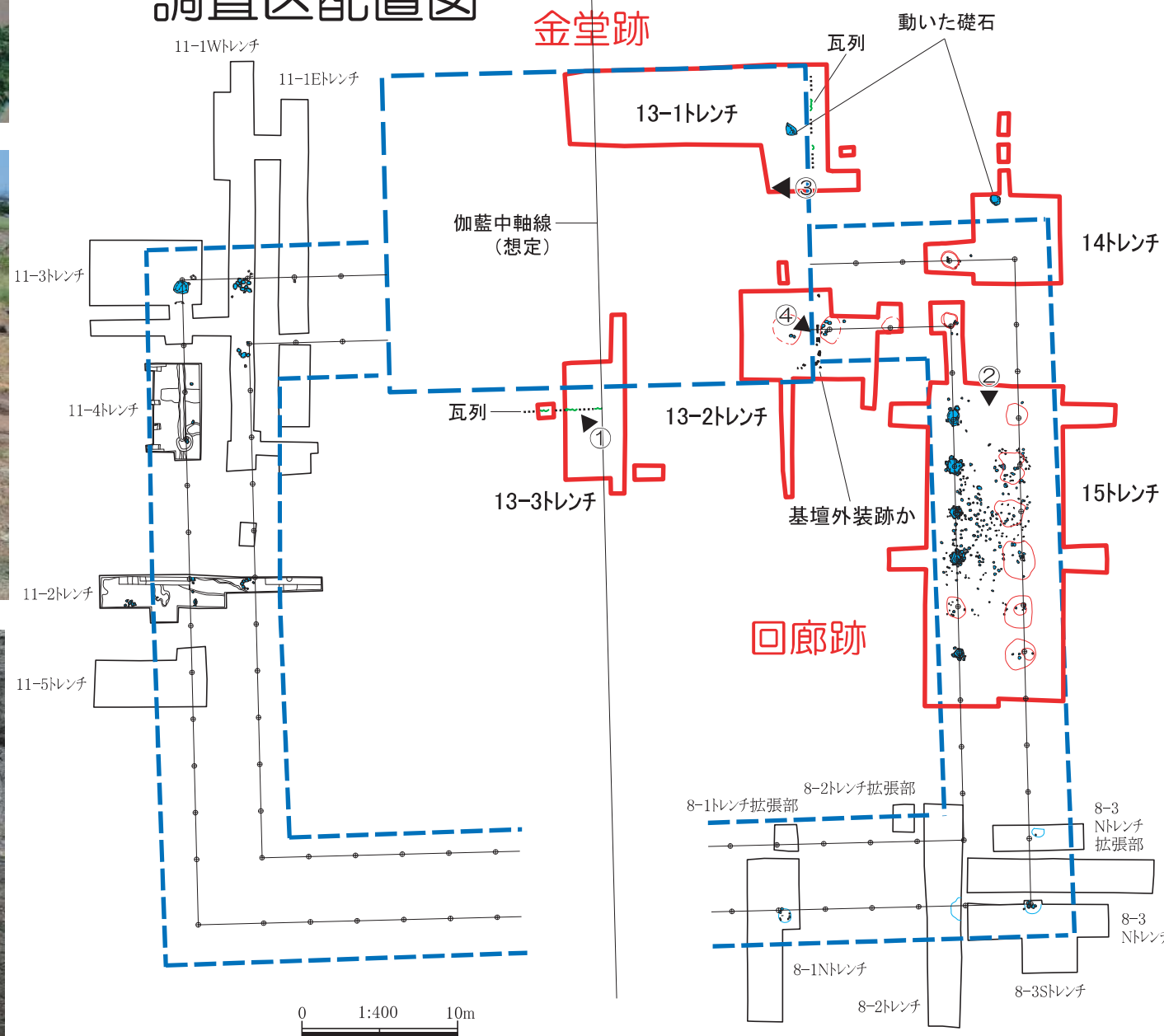


0 1:1600 80m

群馬県教育委員会昭和44・45年度調査トレンチ  
前1～前6：前橋市教育委員会平成11年度調査トレンチ  
前①～前⑬：前橋市教育委員会平成12年度調査トレンチ  
群A区・群B区：群馬町教育委員会平成12年度調査区  
前橋61a・bT：前橋市教育委員会平成30年度調査トレンチ



調査区配置図



回廊跡は過去に南東隅や北西隅を調査している。  
今回、東面回廊跡で原位置の礎石が5か所に残ることから、より具体的に柱の位置がわかった。  
このことから想定される上屋の規模は、柱の芯々距離で東西52.8m・南北41.4m、通路の幅は4.2mある。  
なお地業部分の幅は8m前後である。

- 令和2年度調査区範囲
- 地業範囲
- 調査で確認された礎石及び根石
- 柱の推定位置

0 1:400 10m